

# さがえ区社協だより

## No.53

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

〒247-0005 横浜市栄区桂町 279 - 29 ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内

電話 045 (894) 8521

Fax 045 (892) 8974

E-MAIL : office@sakaeku-shakyo.jp URL : http://www.sakaeku-shakyo.jp

令和3年2月1日発行

承認：栄区連第56号

## コロナに負けるな！ こんなときだからこそ、できることから

新型コロナウイルス感染防止対策により地域で行われる行事は多くが中止になり、今まであたりまえにできていたことができなくなるという日常生活。近所のつながりや支えあいといった人と人がつながることで成り立つ地域活動の根幹を揺るがす事態になりました。

とはいえ、数か月が過ぎ、コロナの感染に気をつけながらの活動が徐々に始まってきています。栄区社会福祉協議会でもボランティア団体・各施設などを中心にアンケートを取らせていただき、その現状や課題、今後の展望などについてのご意見をいただきました。

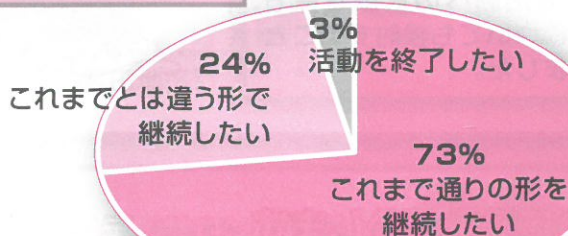
今回はそのアンケートの結果を受けて活動の再開の様子や、新たな取り組みにつながった事例などをお伝えします。

### アンケート結果

アンケート調査期間：令和2年6月～7月

対象：①ボランティア団体、障害当事者団体 依頼件数 149件 回答率 81%  
②地区社会福祉協議会、区内福祉施設 依頼件数 82件 回答率 70%

#### 今後の活動について



#### 活動を継続・再開するに至った経緯・理由を教えてください

- ・必要とされており、利用者・参加者・担い手（ボランティア）などにとって生活の一部だから
- ・利用者・参加者・担い手（ボランティア）から継続・再開を望む声があがったため

#### 活動を継続・再開できない（しない）ことで団体が抱える課題はありますか

- ・担い手（ボランティア）みんなの意識を保つこと
- ・コミュニケーションが少なくなる
- ・休みの期間が長いと心に穴があいた。やってきた気持ちに変化が生じてしまった
- ・地域住民の交流、イベントがすべて中止となり、顔のみえるつながりができない
- ・サロン活動を再開するために、必要となるマニュアルや備品の要望
- ・障害者地域作業所等では販売の機会が制限され、創作意欲の低下、工賃の原資となる売上の低下

中面で、活動事例をご紹介します

区社協ホームページでも  
事業紹介をしています。

詳しくはコチラ

栄区社協

検索

視覚障害のある方にも広報誌の情報を提供できるように音声訳版をご用意しておりますので、ご希望の方は栄区社会福祉協議会までお問い合わせください。

# コロナ禍での活動を一部紹介します

## 事例1

障害者地域作業所から…販売の機会が制限され、創作意欲の低下、工賃の原資となる売上げの低下になってしまう…の意見



何か方法がないだろうか…  
移動販売と一緒に場所で販売してもらおう!



すでに実施している移動販売の場所に地域作業所と一緒に販売できるよう、自治会・町内会や企業の協力で実施することができました。

### 作業所の声

短時間で多くの方が来てくれて効率がいいです。また、地域住民の方とお話することができ、障害者理解にもつながっています。

### 住民の声

障害者地域作業所を初めて知ることができました。普段いけない場所なので、こういった場所に来てもらえる色々な物が購入できうれしいです。

### 企業の声

相乗効果で両者と多く皆さんの住区の方に知ってもらえるのはとてもいいことだと思います。

### ● 移動販売とは・・・

生活課題のひとつである「買い物」について、栄区社会福祉協議会や地域ケアプラザ及び地域の自治会・町内会等の協働により、イオンフードスタイル港南台店やローソン上郷野七里テラス店が移動販売を行っています。「買い物」を通して、生活支援だけでなく、住民相互の交流や見守りの活動につながる場となっています。

## 事例2

活動団体から…担い手にとって活動は生活の一部、ほかの団体がどうしているのを知りたい、会員、ボランティアの体力、気力が低下する…の意見

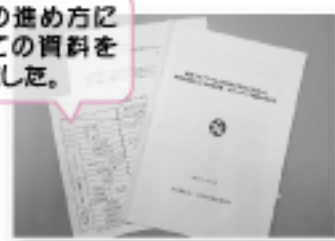


網のつながりを大切にしたい!

各地区でサロン交流会や会議等情報交換を行いました

担い手同士の意見交換・情報交換の場を設けることで、各団体がどのように活動を行っているか知ることができました。活動の目的を改めてみんなで確認することで活動への意欲を保ち、やり方についても検討することができました。

活動の進め方についての資料を配りました。



【本郷中央地区】

各地区開催の様子



団体の現状・課題を共有し、再開に向けて話し合いました。



【本郷第三地区】

地域で繋がりを続けるために、何が必要か検討しました。



【上郷西地区】

参加者からは「再開に向けて前向きに変わった」との声もありました。



【上郷東地区】

コロナ禍において、今自分たちができること、サロン活動の目的を再確認しました。



【豊田地区】

「今後の活動をどうしていくか」悩みを共有しながら検討しました。



【荻間地区】

団体の現状を発表し、活動の工夫を共有しました。



【小菅ヶ谷地区】

## 事例3

“ウィズコロナ” 禍での活動再開

「積み木」さんの活動を紹介します

### — 感染防止を徹底して —

新型コロナウイルス感染症の流行により、3月から5月まで全ての活動を休止しました。3ヶ月間の休止中は、会報や手紙を届けて利用者や担い手とのつながりを保ち続けてきました。6月後半、感染がいったん収束に向かった時点で、待って下さっている利用者の声に励まされ、配食サービスは週2回に減らし、拠点での交流活動は飲食なしの限定したやり方で、再開しました。

担い手には、健康チェック、消毒、マスク着用、3密を避ける等、感染防止に徹底して取り組みながら、できることを少しずつ再開していこうとお願いし、あくまでも個々の考えを大事にして参加してもらいました。高齢で辞められた方もいますが、ほぼ活動の再開を支持、協力して頂いています。

また、配食サービスでは、利用者一人ひとりに状況

を伺い、事情を伝えて必要度の高い方を優先させて頂きました。週1回のミニデイサロンでは、人気だった会食やカフェは休止。3密を避けた少人数での、楽しいひとときを過ごせるプログラムを工夫しています。

再開後の7、8月には再び感染が急拡大し、厳しい毎日が続きました。話し合いを重ね、感染防止を一層徹底して活動を継続する判断をしました。

11月からはケアプラザ調理室の使用が可能になり、週4回の配食サービスを再開。利用者からは「やっぱり積み木のお弁当は美味しい」との声が寄せられています。しかし、寒さと共に感染拡大の第3波がやってきました。活動を支える担い手の安全を第一に考え、皆が一致して協力し合えることを大事にして、今後の状況に対応していきたいと考えています。

(積み木 後藤)

### ミニデイサロンの様子

3密を避けるため2グループに分けて実施



簡単な体操



映像で落語などを鑑賞

### 配食サービス



3密を避ける注意を掲示



拠点入口の衛生チェック

### 「ボランティア活動は私たちのまちの宝物」

横浜市社会福祉協議会では、コロナ禍においても住民の皆さんや関係機関・団体の皆さんと協力して地域づくりを進めていくため、リーフレットを作成して配布しています。

横浜市社会福祉協議会のHPよりダウンロードできますのでご活用ください。

検索：横浜市社協ポストコロナ



## 栄区社会福祉協議会 会長就任のごあいさつ



田中 健次

昨年6月、日浦前会長の後任として就任しました田中健次と申します。  
 栄区社会福祉協議会に係る皆様には、あらゆる面で日頃から大変お世話になっております。  
 本年度は期初からの新型コロナウィルス感染症の蔓延により、悩まされ続けております。  
 皆様も諸活動の実行に、ご苦勞の連続であったことと思います。

少子高齢化の進む栄区ではありますが、皆様ご存知のとおり、区役所を中心に福祉目的の諸活動が進められております。

第3期栄区地域福祉保健計画は、本年度をもって終了し、来年度から始まる第4期計画を策定中であり  
 ます。第4期計画は、区計画及び地区別計画を以って構成されます。併せて、横浜市18区中唯一「セーフ  
 コミュニティ活動」を推進しているのが栄区であります。

栄区社会福祉協議会は、これら諸活動の推進に職員一同協力体制を整えて取り組んでおります。  
 今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



## じぶんのまちを良くするしくみ 赤い羽根共同募金



2020年  
共同募金PR大使  
フンボルトペンギン  
「アポロ」

赤い羽根共同募金運動が10月1日より開始されています。すでにご協力いただいた方、温かいご支援ありがとうございました。

ひとりひとりの小さな力が、地域の福祉を支える大きな力となっています。今年度は3月31日までが運動期間ですので、引き続きご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

### 共同募金は身近な地域福祉活動を支えています

ご協力いただいた募金の7割は、高齢者や障害者の家事援助や配食・会食サービスなどのボランティア活動に役立てられます。残りの3割は障害者施設の福祉車両の整備や保育園の備品などへの支援をはじめ、コロナ禍での緊急支援活動などにも役立てられています。

共同募金の納入については、栄区社会福祉協議会の窓口にお持ちいただくか、お近くの郵便局で下記口座へお振込みいただきますよう、よろしくお願いいたします。

振込先口座 口座番号：00260-5-11773 加入者名：共同募金会栄区支会

栄区社会福祉協議会 栄区桂町279-29

問合せ  
申込先

TEL:045(894)8521  
FAX:045(892)8974

区社協ホームページでも事業紹介をしています。



詳しくはコチラ

栄区社協

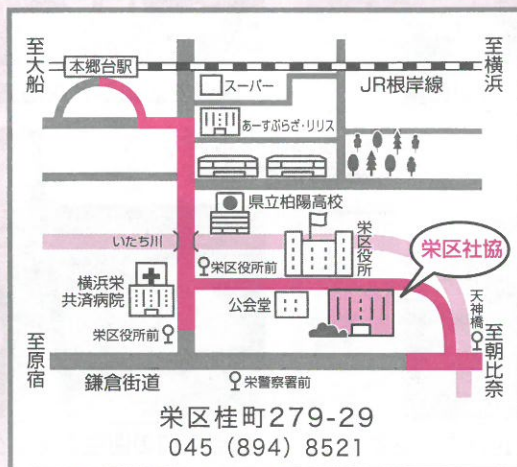
検索



本誌は、区民の皆様から寄せられた共同募金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力で全世帯にお配りしています。

【栄区社会福祉協議会広報編集委員】  
 豊田(堀田 賢一) 笠間(田中 貞代)  
 小菅ヶ谷(涌井 秀治) 本郷中央(長沼 勲)  
 本郷第三(寺本久美子) 上郷西(渡邊 晶)  
 上郷東(湖上 忍) 積み木(中澤 孝子)  
 こすがりや(小野寺淳子) 花みずきの会(角田 和江)

【編集後記】  
 新型コロナウイルスに振り回されてきた一年でした。緊急事態宣言が発令され、外出が制限されたり、その後、第2波が起り、宣言はされませんでした。3密を避けるため自粛を強いられ、種々の活動も制約を受けました。  
 この状態で、今までなされていた高齢者見守り活動も滞っていて、私に関係しているお弁当を配達しての見守りも中止を余儀なくされました。また種々の高齢者向けの催しも中止となり、高齢者の方々の交流もなくなりました。  
 専門家の話によると、高齢者の方が外に出ないで内にこもり、他の方々と交流をしなくなると認知症が進む懸念があるとのこと。我々としてもいつまでも手をごまねいていられない。高齢者の方々がなるべく不安がらずに外出する機会を増やし、交流ができる企画を考える必要があるのではないのでしょうか。各地区でも考えられ動き出したようですが、我々も何らかの企画をまとめたいと考えています。(涌井)



栄区桂町279-29  
045(894)8521